



特選
2015

全国公民科・社会科
教育研究会会長賞

第13回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

道路と経済の関係について

岡山県・岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年 木村 誠太郎

夏休みのある日、最寄りの駅に行くためにいつも車で通っていたバイパスを自転車で通ってみると、5つあるすべての信号にかかってしまった。その道はたまに自転車で通ることがあっても、直進の信号が赤になると右折をしていたため気づかなかったが、運が悪かったのかそれとも必然であったのか疑問に思い、もう一度別の機会に初めの信号が赤から青になるまで待って、その道をずっと進んでみた。するとまたも5つある信号はすべて私の渡ろうとする直前ですべて赤となって、止まることとなった。

これは必然的にこうなっているのだろうと確信した私は何か理由があるであろうと思い、その道の手前の信号機が赤から青に変わってから、その先にある信号機が赤になるまでの時間とその2つの信号機間の距離の関係について、ストップウォッチと地図を用いて調べてみた。

調査したデータを家に帰って整理してみると、どの2つの信号も間の距離100メートルあたり20秒の時間差、つまり平均時速18キロメートル以上のスピードが出ていれば一度信号にかかるとその次の信号は必ず青になり、逆にその速度よりも少し遅ければ直前で赤になって、信号にかかってしまうということが分かった。

このことから、自転車でこの道を行ったら、一度信号にかかると次の信号に必ずかかってしまうが、自転車よりも速い車であれば1回信号にかかると少なくとも次の信号が青になり、結果として車がスムーズに流れるように時間差がうまく調整してあるという自分の中での結論に至った。

また、その道は比較的新しく作られた道で詳細な文言は覚えていないが、「このバイパスができることによる経済効果は年間〇〇億円。」と書かれた看板が昔設置されていたことを思い出した。

そこで新たに道ができることが経済に与える影響についてまずは自分なりに

考えてみた。一つは周辺地域の活性化だと思う。「今は町になったけど、この道ができたのは最近で、昔はこのあたりは一面田畑が広がっていた。」と父が話していたことから、道が出来たことにより交通量が増え、その道を通る人を狙って沿線に商業施設ができ、また利便性の向上により周辺に住宅などが建つという流れでその道の周りが変化するのではないかと思った。二つ目はその道ができることで既存の道路を通っていた車が分散することにより渋滞が緩和され、利便性が向上することであると思う。渋滞が緩和されれば、移動にかかる時間やガソリン代などが節約でき、そのことを他に回すことができるし、より便利になれば人々の出かけようという意欲がわき、人の流れも活発になるのではないかというように考えた。

実際はどのような経済的な効果があるのかについて、だめもとでインターネットを使って調べてみると、国土交通省のページにその道が開通したことによる様々な効果について書かれていた。主な効果は中心市街地の流入交通の分散によって渋滞が緩和し、所要時間が短くなり、生活利便性の向上や市街地の活性化がなされるとのことだった。実際に主要道の渋滞が最大9割解消され、沿線の大型店舗数がこの10年間で約1.5倍に増えた^{注)}ことから道が経済に与える影響の大きさが感じられた。また、記載されていた効果の中で物流の改善や企業活動の活発化があった。私自身インターネットで調べるまで、道の与える経済的な効果について利用する人の観点でしか考えていなかったが、利用する企業側の視点に立って考えても大きな経済的な効果があることが分かった。

夏休みのある一日にいつも車で通る道を自転車で通ったというちょっとした出来事がきっかけで、疑問を持って調べてみると様々なことが分かった。特に多角的な観点から物事を見るとまたそのものについて新しい事実が得られるということが改めて理解できたという点で良い経験となり、また、身の回りのちょっとした出来事にも興味を持って調べてみることの大切さを学ぶことができた。

私たちの暮らしに不可欠なものである道路の、経済において果たす大きな役割を再認識するとともに、大きな道路の交通システムに秘められた、車が信号にできるだけかからないようにして渋滞などの発生をできるだけ小さくするような小さな工夫がなされていること。こういった大きなものに小さな工夫が積

み重なって私たちの社会や経済が成り立っているという新たな視点で物事を見ると、何か別のものにおいても、そのものが経済に果たしている役割や、それに欠かせない小さな工夫が発見できるのではないかと思います。これからはこういったことにも着目して、日々新たな発見をしながら生活していれば経済について何か見えてくるのではないかと思います。

(注) 国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所「みちなびおかやま」、2015年8月29日閲覧

URL http://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/news/2011/contents/oshirase_37.htm

